

第3回定例研究会（案内）

佐々木究（京都産業大学）

日程：2025年3月8日（土）14:00-16:30

本会は、【対面形式】と【オンライン・リアルタイム配信(zoom)】によるハイブリッド型で開催します。各自のご希望、ご事情にあった形式でご参加ください。

【対面形式】

会場：筑波大学 東京キャンパス 432 会議室
東京都文京区大塚 3-29-1

注意事項1：

一部の発表は、遠隔地からオンラインで行われます。対面形式でご参加の方も PC やタブレット端末などをご持参されることを推奨します。ネットワーク回線の利用のあり方については、下記の注意事項2をご確認ください。

注意事項2：

対面会場では、eduroam をとおして施設のネットワーク回線が利用できます。それ以外の方は、施設のネットワーク回線を利用するために事前の申込みが必要です。利用を希望される方は下記のフォームから期日までに申込みをお願いします。

ネットワーク利用申請

Google Forms：<https://forms.gle/ZdUbkniP6oHfoFsn9>

または下記の QR コードから



〆切：2025年3月5日水曜日 24:00

問い合わせ先：深澤浩洋（筑波大学） fukasawa.koyo.gu@u.tsukuba.ac.jp

【リアルタイム配信】

接続方式：zoom

注意事項：

リアルタイム配信の閲覧情報はメーリングリストでお知らせします。メーリングリストへの登録をお願いします。会員以外が閲覧する場合は、会員から研究担当にご連絡ください。また参加者は当日実施する出席調査(Google Forms)に記入をお願いします。

【プログラム】

14：00 代表挨拶 深澤浩洋（筑波大学）

[学位論文発表の部]

14：05 研究発表① 石坂未遊（日本体育大学大学院） ※会場発表予定

アダプテッドスポーツを通じた共生社会実現に関する一考察
：多様性の尊重にある「善の強制力」に着目して

[概要]

本研究は、アダプテッドスポーツを通じた共生社会の実現を目的とし、多様性の尊重に内在する「善の強制力」の課題を明らかにした。ヒュームの道徳論を基に多様性の尊重の「善の強制力」を考察した結論として、以下の三つがあげられる。(1) 外的圧力ではなく内発的動機に基づく多様性の尊重が必要である。(2) 抽象化された多様性の概念は、アダプテッドスポーツに関わる人々における個々の「いのち」や内的経験を覆い隠す。(3) アダプテッドスポーツは、自身の多様性についての考えを具体的で個別的な行為として再構築する場となり得る。

14：40 研究発表② 池田雄大（筑波大学大学院） ※オンライン発表予定

道徳的実践に対する身体教育の寄与
：実践へ向かわせる衝動に着目して

[概要]

本研究の目的は、身体教育がどのように道徳的実践に対して寄与するのかを明らかにすることである。現在の道徳教育は、その教科化に伴い、「考え、議論する」といった知的な理解によって、子どもたちを道徳的実践へ向かわせようとする傾向がある。そうしたなかで改めて、身体的な実践による道徳教育が、子どもたちの道徳的実践に結びつくことを示したい。その手がかりとして本研究では、ニーチェの道徳論に着目する。

15：15 研究発表③ 高桑啓樹（筑波大学大学院）

※会場発表予定

スポーツ観戦者の「解放」としてのヤジ

：発話主体の創造的解釈に着目して

〔概要〕

本修士論文の目的は、現代のプロスポーツにおいてヤジを飛ばすことが観戦者にとって有する意味を示すことである。そのために、先行研究では見落とされてきた発話行為の視点から、ヤジを飛ばす個々の観戦者と、試合で起こる事象についての彼らの解釈に着目する。その解釈の特徴を検討するために、演劇の観客によるパフォーマンスの解釈について論じているランシエールの議論を参照する。それによって、ヤジを飛ばすことにおいて試合の事象を創造的に解釈する観戦者が、マスメディアへの従属から「解放」されることを示したい。

〔一般発表の部〕

15：50 研究発表④ 水島徳彦（小田原短期大学）

※オンライン発表予定

体育の可能性に関する試論

：フレーベル教育学を手がかりに

〔概要〕

本発表は、体育の可能性について探究することを主題とする。今日、“体育”といえば制度的に学校教育の枠組みにおいて展開されているが、そもそも、それが身体に関する教育であるという出自を踏まえるならば、その可能性は学校教育の枠組みにとどまるものではないことが予感される。そのような体育がもつ可能性について、フレーベル教育学を手がかりにしつつ、その展望を示してみたい。

16：25 副代表挨拶 関根正美（日本体育大学）

【問い合わせ先：研究担当】

佐々木 究

sasaki9@cc.kyoto-su.ac.jp

阿部 悟郎

gr-abe@tsc.u-tokai.ac.jp